【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【公開番号】特開2001-231758(P2001-231758A)
【公開日】平成13年8月28日(2001.8.28)
【出願番号】特願2000-45322(P2000-45322)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　5/0245
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　5/02　３２１Ｔ
　Ａ６１Ｂ　5/02　３２１Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成16年2月26日(2004.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
身体の脈拍を計測する脈拍計において、計測中の所定時間の脈拍数の変化量が所定値より変化した場合に、脈拍変化の異常と判定する判定手段と、前記判定手段で脈拍変化の異常と判定された場合に、脈拍変化の異常を知らせる報知手段を設けたことを特徴とする脈拍変化判定機能付き脈拍計。
【請求項２】
身体の脈拍を計測する脈拍計において、運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合に、脈拍変化の異常と判定する判定手段と、前記判定手段で脈拍変化の異常と判定された場合に、脈拍変化の異常を知らせる報知手段を設けたことを特徴とする脈拍変化判定機能付き脈拍計。
【請求項３】
身体の脈拍を計測する脈拍計において、運動終了時の運動強度が所定値以上であり且つ運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合に、脈拍変化の異常と判定する判定手段と、前記判定手段で脈拍変化の異常と判定された場合に、脈拍変化の異常を知らせる報知手段を設けたことを特徴とする脈拍変化判定機能付き脈拍計。
【請求項４】
身体の脈拍を計測する脈拍計において、計測中の所定時間の脈拍数の変化量が所定値より変化した場合、または運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合に、脈拍変化の異常と判定する判定手段と、前記判定手段で脈拍変化の異常と判定された場合に、脈拍変化の異常を知らせる報知手段を設けたことを特徴とする脈拍変化判定機能付き脈拍計。
【請求項５】
身体の脈拍を計測する脈拍計において、計測中の所定時間の脈拍数の変化量が所定値より変化した場合、または運動終了時の運動強度が所定値以上であり且つ運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合に、脈拍変化の異常と判定する判定手段と、前記判定手段で脈拍変化の異常と判定された場合に、脈拍変化の異常を知らせる報知手段を設けたことを特徴とする脈拍変化判定機能付き脈拍計。
【請求項６】

前記計測中の所定時間の脈拍数の変化量が所定値より変化した場合が、サンプリングした脈拍数と前記サンプリングした脈拍数から３秒後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が２０拍／分未満でない場合であることを特徴とする請求項１記載の脈拍変化判定機能付き脈拍計。

【請求項７】

前記運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合が、サンプリングした運動中の最後の脈拍数と前記サンプリングした運動中の最後の脈拍数から１分後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が１２拍／分以下である場合であることを特徴とする請求項２記載の脈拍変化判定機能付き脈拍計。

【請求項８】

前記運動終了時の運動強度が所定値以上であり且つ運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合が、運動中の最後の運動強度が４０％以上であり且つサンプリングした運動中の最後の脈拍数と前記サンプリングした運動中の最後の脈拍数から１分後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が１２拍／分以下である場合であることを特徴とする請求項３記載の脈拍変化判定機能付き脈拍計。

【請求項９】

前記計測中の所定時間の脈拍数の変化量が所定値より変化した場合が、サンプリングした脈拍数と前記サンプリングした脈拍数から３秒後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が２０拍／分未満でない場合であり、前記運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合が、サンプリングした運動中の最後の脈拍数と前記サンプリングした運動中の最後の脈拍数から１分後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が１２拍／分以下である場合であることを特徴とする請求項４記載の脈拍変化判定機能付き脈拍計。

【請求項１０】

前記計測中の所定時間の脈拍数の変化量が所定値より変化した場合が、サンプリングした脈拍数と前記サンプリングした脈拍数から３秒後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が２０拍／分未満でない場合であり、前記運動終了時の運動強度が所定値以上であり且つ運動終了時から所定時間経過後の脈拍数の変化量が所定値より変化しなかった場合が、運動中の最後の運動強度が４０％以上であり且つサンプリングした運動中の最後の脈拍数と前記サンプリングした運動中の最後の脈拍数から１分後にサンプリングした脈拍数との差の絶対値が１２拍／分以下である場合であることを特徴とする請求項５記載の脈拍変化判定機能付き脈拍計。